

子どものスポーツチャレンジ支援事業（鬼ごっこによる体力向上）
アンケート調査（中間報告）

○目的

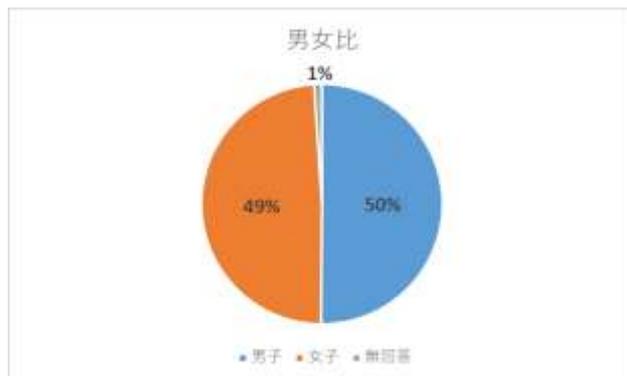
小学生が、東北公益文科大学の大学生と一緒に体育の授業（鬼ごっこ）をすることで、運動や体育の授業への取り組み方にどんな変化があったかを検証・評価し、今後の事業内容の充実へ繋げるために実施。

○調査要領

- (1) 調査対象：事業に参加した市内小学校の児童
(浜田小、若浜小、松原小、黒森小、宮野浦小、平田小、八幡小)
- (2) 調査方法：各自のタブレット端末を利用し、WEB回答
- (3) 2月18日現在の回収数：385件
(浜田小、黒森小、宮野浦小、平田小、八幡小)

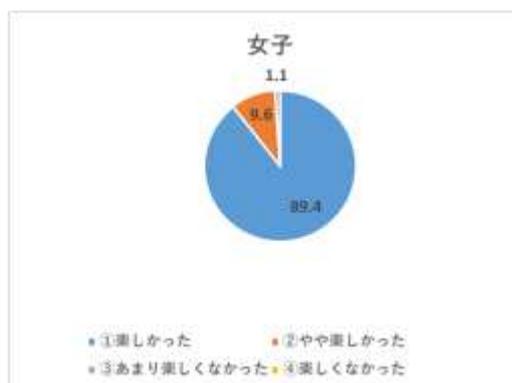
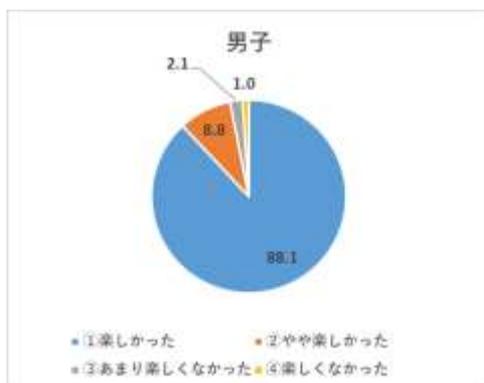
男女比

	件数	割合(%)
男子	193	50.1
女子	188	48.8
無回答	4	1.1
全体	385	100.0



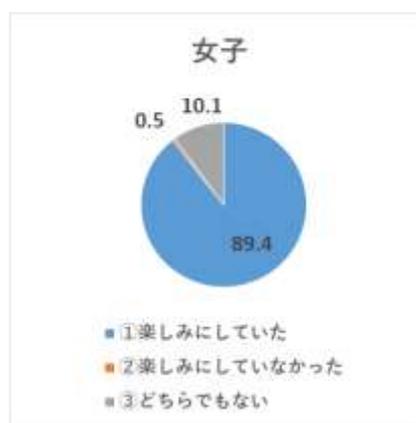
問1 大学生が参加した体育の授業（鬼ごっこ等）は楽しかったですか。(%)

	①楽しかった	②やや楽しかった	③あまり楽しくなかった	④楽しくなかった
男子	88.1	8.8	2.1	1.0
女子	89.4	9.6	1.1	0.0
無回答	50.0	25.0	25.0	0.0
全体	88.3	9.4	1.8	0.5



問2 大学生が参加する体育の授業を楽しみにしていましたか。(%)

	①楽しみにしていた	②楽しみにしていなかった	③どちらでもない
男子	90.2	1.6	8.3
女子	89.4	0.5	10.1
無回答	75.0	0.0	25.0
全体	89.6	1.0	9.4



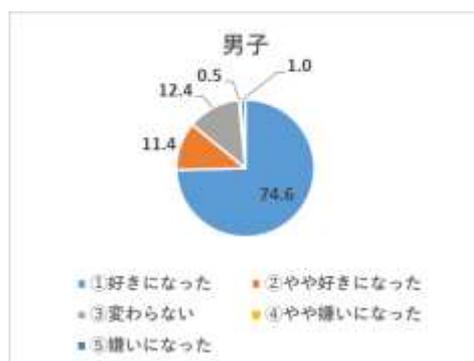
問3 大学生と一緒にやった鬼ごっこは、「とても楽しかった」を100点とすると何点ですか。(%)

	①90-100点	②80-89点	③70-79点	④69点以下	平均点
男子	89.6	3.1	1.6	5.7	94.0
女子	87.2	8.5	2.1	2.1	95.8
無回答	75.0	0.0	0.0	25.0	81.5
全体	88.3	5.7	1.8	4.2	94.7



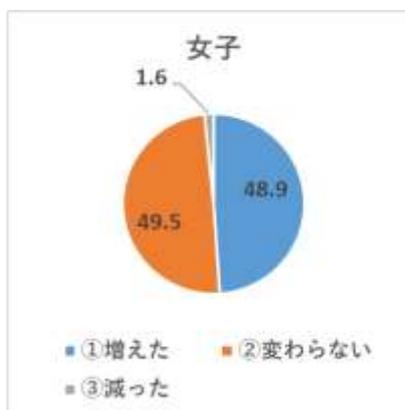
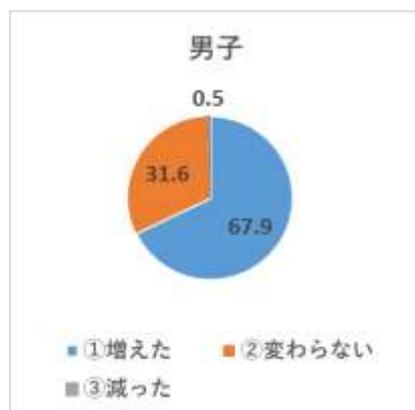
問4 大学生との交流を通じて、運動（体を動かす遊びを含む）をすることが好きになりましたか。（%）

	①好きになった	②やや好きになった	③変わらない	④やや嫌いになった	⑤嫌いになった
男子	74.6	11.4	12.4	0.5	1.0
女子	66.5	17.0	16.5	0.0	0.0
無回答	25.0	0.0	75.0	0.0	0.0
全体	70.1	14.0	15.1	0.3	0.5



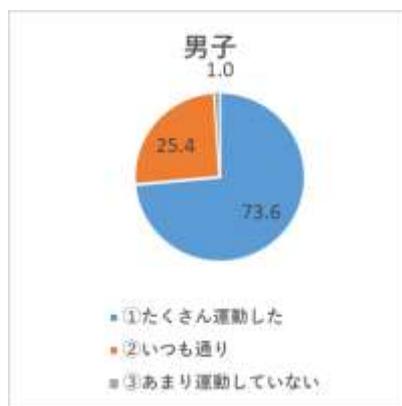
問5 大学生が参加した授業の前と後を比べると、運動（体を動かす遊びを含む）する機会は増えましたか。（%）

	①増えた	②変わらない	③減った
男子	67.9	31.6	0.5
女子	48.9	49.5	1.6
無回答	0.0	100.0	0.0
全体	57.9	41.0	1.0



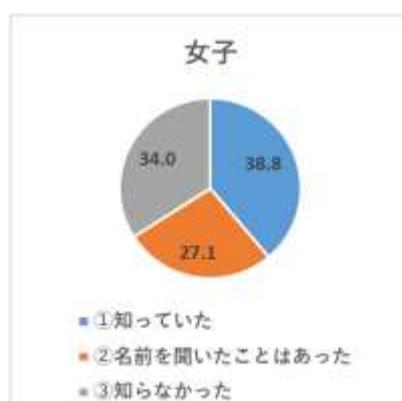
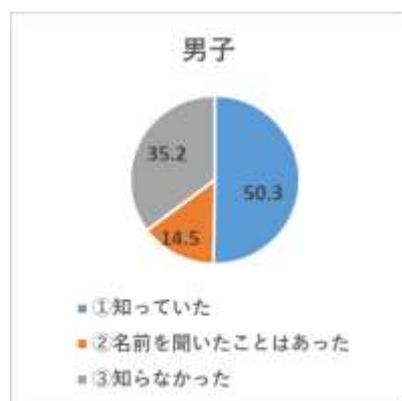
問6 大学生が参加した鬼ごっこの時間は、通常の体育の授業よりたくさん運動しましたか。(%)

	①たくさん運動した	②いつも通り	③あまり運動していない
男子	73.6	25.4	1.0
女子	67.0	30.3	2.7
無回答	25.0	75.0	0.0
全体	69.9	28.3	1.8



問7 大学生が鬼ごっこの授業に参加する前、酒田市に東北公益文科大学があることを知っていましたか。(%)

	①知っていた	②名前を聞いたことはあった	③知らなかった
男子	50.3	14.5	35.2
女子	38.8	27.1	34.0
無回答	50.0	50.0	0.0
全体	44.7	21.0	34.3



問8 大学生とまた一緒に運動したいと思いましたが。(%)

	①思った	②思わなかった	③どちらでもない
男子	92.7	2.6	4.7
女子	89.9	1.6	8.5
無回答	75.0	0.0	25.0
全体	91.2	2.1	6.8



問9 大学生との授業で楽しかったことなど感想があれば、自由に入力してください。

■楽しかった(鬼ごっこ)

- ・いつもの人とは鬼ごっこができて楽しかった。
- ・いつもより走ったのでいっぱい体が動かせたので楽しかった。
- ・大学生と鬼ごっこする機会があまりないので、すごく楽しかったし久しぶりにみんなと鬼ごっこができてすごく楽しかった。
- ・やったことがない鬼ごっこなどもあって、色々な鬼ごっこでの遊び方が知れたので嬉しかった。特に、宝奪い鬼ごっこが楽しかった。
- ・冬になってあまり走る機会がなかったから、たくさん体を動かせて良かったしとても楽しかった。
- ・相手のコーンを取って、対戦する宝取り鬼や、同じくチームで対戦する猫とネズミの鬼ごっこ、他には頭を使う手つなぎ鬼や、シンプルだけど難しい電子レンジ鬼も楽しかった。

■楽しかった（大学生との交流）

- ・大生と鬼ごっこをしたり運動したりするのが楽しかった。とくに鬼ごっこで公益大生の足が早くて面白かった。みんなが楽しくなっていたと思った。
- ・たくさんは、走れないけれど鬼ごっこならできるので、たのしかった。いつもクラスでしかやらないので、大学生といつもとはちがう鬼ごっこができてたのしかった。
- ・自分より年上の人たちと勝負できるのが楽しかった。

■またやりたい

- ・大学生と一緒に運動できて楽しみながら、運動の時間も増えてとても嬉しかった。また大学生の人達と楽しく運動ができたならそのときはとても楽しみ。また大学生の皆さんと鬼ごっこをしたい。
- ・大学生のみなさんが、来てくれたおかげで、すごく楽しい体育の授業がうけられたので、とても嬉しかった。またぜひ、小学校に来てほしい。
- ・大学生の人たちとやる鬼ごっこは僕が思っていたのとは違ったが、新しい鬼ごっこができたので楽しかった。「また機会があればもう一度鬼ごっこをやりたい」と思った。
- ・大学生が考えてくれた鬼ごっこは、やったことがない鬼ごっこだったのでとても楽しかった。大学生がやさしく教えてくれた。また来てほしい。
- ・大学生の方々と一緒に授業で遊ぶのは最初は少しだけ怖かったけどやり始めたらすごく楽しかった。またやりたい。

■その他

- ・色々な鬼ごっこが出来たことと、大学生とやった宝とりゲームが特にたのしかったし学校でもするようになった。
- ・いつもより体を動かすことが増えたとし、自分よりも年上の人への抵抗がなくなった。
- ・初めて大学生と鬼ごっこをして前まではあんまり鬼ごっこは好きじゃなかったけど大学生とやってみたら鬼ごっこが好きになった。
- ・体を動かすこともできたし、頭を使った運動もあったのでいいなと思った。

○事業に参加した大学生へのアンケート

○調査要領

(1) 調査対象：事業に参加した大学生

(2月14日現在事業が終了し、アンケートの回答があった3部活
(女子バレー部、男子サッカー部、女子サッカー部)の学生が対象)

(2) 調査方法：各自の電子端末を利用し、WEB回答

(3) 回答人数：17人

● この事業を通して、子どもたちと関わる仕事(例：教員、スポーツクラブの指導者など)をしたいと思うようになりましたか

はい：10人　いいえ：7人

● あなたは現在、教職課程を履修していますか

はい：1人　いいえ：15人　無回答：1人

● 参加した学生の声(抜粋)

①事業を通して良かった点

- ・小学生にどのように教えたら分かりやすいのか、どのような事をするのが楽しいのかいつも考えないことを考えて出来たこと。小学生と触れ合えたこと。
- ・素直な小学生とふれあい、どのような言葉遣いや伝え方なら小学生が熱意を持って鬼ごっこに取り組んでくれるか考えながら事業をすることで私自身が成長できた。
- ・伝え方、教え方が対大学生とは変えないと伝わらないので、言葉の表現や伝え方が広がったと思う。
- ・子供達と関わり、懐かしい気持ちになった。この気持ちを忘れずにしたい。

②事業を通して大変だった点

- ・大学生がいることで興奮状態の子供たちを、なだめることが予想以上に大変だった。
- ・学年に合わせた鬼ごっこの考案とわかりやすく短い説明の仕方、とても元気のある小学生たちだったが、鬼ごっこの説明の際話す順番を間違えるとすぐに盛り上がり話を聞いてくれなくなった時があったので、わかりやすく簡潔に話す力が重要だと思った。

③事業について気づいた点・改善点

- ・日程の調整が遅くなったため、もう少し早めに日程を決めていきたい。
- ・もっとアレンジ鬼ごっこを新しく考えていきたい。
- ・日程調整が難しく、鬼ごっこも学生で考える必要があって負担だった。

- ・鬼ごっこから体育の授業への切り替えが低学年には特に難しいように感じた。

○事業協力いただいた各校先生方の声（抜粋）

●事業を実施して良かった点

- ・知らない遊びを体験することができた。
- ・運動が苦手な児童も、積極的に活動していた。
- ・大学生と関わることを楽しみにしていた児童が多かった。
- ・教師とは違う立場の大人と関わることで、子ども達は刺激を受け、いつも以上に体を動かすことを楽しんでいた。
- ・先輩として自分の体験（足が速くなるコツ、サッカー上達のコツなど）を話していただいたことで、子ども達も、自分もやれそうだと感じていた。
- ・欠席児童の代わりにチームに入ってもらい、児童と積極的に関わっていただいた。外部の方との関わりは、子ども達にとってよい機会となった。
- ・ほとんどの児童が、活動を「楽しかった、またやりたい」と振り返っていたので、来年度以降も継続していただきたい。

●事業について気づいた点・改善点

- ・大学生の都合で日程が変更になり調整に手間がかかってしまったので、都合のつく曜日など分かっていたのであれば、事前に教えてほしかった。
- ・大学生が1～2名でしたが、多くの学生から来ていただくと子どもたちも喜びより楽しく活動できたと思う。
- ・お互いの名前を覚え合うまではいかなかったなので、最初に仲良くなるためのグループゲームなどをすれば、より親しい関係が築けたかもしれないと感じた。
- ・とてもすてきな時間をいただいたので、子どもの体力向上のために、可能であれば、春と秋の年2回の実施で、今年度より多い回数がよい。
- ・本事業の目的としては、運動部の学生が体力を生かし、子どもたちと一緒に元気いっぱい走り回って、運動量を確保することと考えていたため、当日の様子を参観して、学生からもっと一緒に運動して欲しかったと感じた。
- ・鬼ごっこのルールにも工夫が必要、学生を捕まえたらポイントアップとか、学生が鬼になってみんなを捕まえる。学生が加わる意味を考えた鬼ごっこだとより良いものになるかと思う。